



| 本校の授業改善に向けた視点 | | | | |
|--|--|---|---|---|
| 指導内容・指導方法の工夫 | 教育課程編成上の工夫 | 校内における研究や研修の工夫 | 評価活動の工夫 | 家庭や地域社会との連携や工夫 |
| ＊学習効果測定の結果分析を基に「学習カルテを活用した学習カウンセリング」を充実させていく。 ＊電子黒板・タブレット等、ICT機器の活用を図り、魅力ある授業、分かる授業の実施に向けて工夫・改善を行う。 | ＊数学・英語においては、習熟度別指導・習熟度を考慮した少人数指導を実施し、スモールステップできめ細かに指導を進めていく。 ＊放課後・土曜日・夏季休業日に補習教室を行い、基礎学力の定着を図る。 | ＊「ICT機器の活用」と「主体的対話的な深い学び」に関わる校内研修を進めていく。 ＊学校集団調査(hyper-QU)をはじめとして、様々な調査の結果を分析し、授業改善に結び付けていく。 | ＊各教科で、評価についての研究を深め、評価の精度を高めていく。 ＊生徒及び保護者への説明責任(妥当性・客観性)を十分に果たすことのできる評価とするために、評価活動の工夫・改善に努めていく。 | ＊家庭学習の充実を図るため、補習等で自主的に学習に取り組む姿勢を確立すると共に、保護者会等で家庭への協力を仰いでいく。 ＊学校地域支援本部との連携を深め、効果的な人材支援を活用し教育活動を充実させる。 |